

『夕陽のあと』

のあと

長島町長
川添 健

映画『夕陽のあと』には

「そのあと」があります

海を越えた

長島の風景と想い

長島町を舞台にした映画『夕陽のあと』が6月3日に全国でDVD発売・レンタルが開始されました。町内では予約限定のメイキングDVDが特典にあり、発売後は反響も聞こえてきます。

令和元年の秋に公開された本作。今号では、映画『夕陽のあと』のDVD発売を受け、現在とこれまでの軌跡を振り返る特別企画をお送りします。



国内での高い評価を受け、映画『夕陽のあと』は海を越え、海外の映画祭でも上映されています。6月9日、ドイツ・フランクフルトで20年目の開催を迎えた国外最大級の日本映画の映画祭「ニッポン・コネクション」では、ニッポン・シネマ部門の出品作として海外初上映という快挙を遂げました。7月7日にはアイルランド・ゴールウェイで「第32回ゴールウェイ映画祭」にも招待されました。この映画祭はダブリン国際映画祭、コーク国際映画祭と並び、アイルランドの三大映画祭の一つとして知られています。映画『夕陽のあと』は、海外でも注目される作品となりました。

撮影が始まった頃は不安でしたが、完成した作品の良さに驚きました。現代の子育てに深く切り込んだ物語は「生みの親、育ての親、どちらの環境がいいのか？」というテーマに対して、「地域が育ててくれる」という長島町ならではの答えがよかったです。長島町がそういう町であってほしいという指標にもなつたと

今だから語れる

町長の映画への想い

長島町で映画を制作しようと思ったきっかけは30年前からになります。当時は特別活性化員という役職で、映画を通して長島町のPRをできないかと思っていました。それから数十年後、映画監督のシナリオの出来がよかつたこと、制作に関わるかたがたの情熱に負けたことで、映画制作に踏み切りました。あの頃はあまり期待はしていなかったのですが…(笑)

感激しました。

長島町全体が映画制作の現場になったことで、生活環境としての再発見もありました。コミュニティでのやりとりや風景が劇中の場面に映ることで、映画を鑑賞したかたが長島町に足を運びたいと思ってもらえたと感じます。

長島町全体が映画制作の現場になったことで、生活環境としての再発見もありました。コミュニティでのやりとりや風景が劇中の場面に映ることで、映画を鑑賞したかたが長島町に足を運びたいと思ってもらえたと感じます。

撮影が始まった頃は不安でしたが、完成した作品の良さに驚きました。現代の子育てに深く切り込んだ物語は「生みの親、育ての親、どちらの環境がいいのか？」というテーマに対して、「地域が育ててくれる」という長島町ならではの答えがよかったです。長島町がそういう町であってほしいという指標にもなつたと

映画『夕陽のあと』を通じて、町民の皆さんにとって、長島町で暮らしていくのは良い環境なんだと、あらためて実感してほしいと思います。海外の映画祭でも長島町の良さが伝わることを期待します。実は、少しでも出演しませんか? という話もありました。もし次回作があれば出演も考えてみます。

長島大陸映画実行委員会
木場 盛二さん



映画制作に参加できたのは一生の思い出です。裏方として、監督やスタッフをサポートしました。一緒にパーベキューしたときは仕事以外の話もして仲良くなりました。全国の劇場での評価が高く、海外の映画祭でも上映されたことは嬉しいし、今後も長島をPRする映画になってほしいです。

一発勝負で最後の夕陽が沈むシーンを撮影できたことは奇跡でした。命と子育てについて考えさせる映画で、子育て中の親が見れば共感すると思います。町民同士の日常的な会話や生産者の仕事風景などを通して、人とのつながりが一番大事ということをあらためて感じました。

裏方として船舶の運転などで協力
上 竜美さん



汐見樽太鼓の一員として出演
北村 晏理さん

貫地谷しほりさんとのキャンプのシーンが一番の思い出です。一緒に「だるまさんが転んだ」をしたり、歌声を聴けたりしたことが嬉しかったです。自分のせりふが映画ではカットされていたのは残念でしたが、出演できてよかったです。

あの頃を振り返る「声」

町外で暮らす長島出身者
平崎 裕章さん



長島弁や見知った顔の登場が楽しめました。長島ならではの自然と人情が、重いテーマを和らげてくれました。「誰も悪くはないが、決して一人ではない!」というメッセージが、夕陽に重ねた風景と町民参加の映像で表現され、感動しました。

海外での上映おめでとうございます。コロナ禍で大変な今、豊かな海とともに生き、地域で子どもたちを育てている長島町の優しさは、太鼓の音とともに、より心に沁みるのではないのでしょうか。

ガーデンズシネマ支配人
黒岩 美智子さん



阿久根市で映画上映が決定!

○場所・開設日時

・風テラスあくね

阿久根市民交流センター

7月19日(日)

①10時〜②14時〜③17時〜

※開場は各回30分前

○チケット代金

大人 前売り1000円

(当日券1200円)

高校生以下 前売り500円

(当日券600円)

問い合わせ先

阿久根市生涯学習課文化係
☎0996(72)1051

映画『夕陽のあと』の準備段階から撮影までの激動の日々は、思い返すと無我夢中で一杯いっぱいでした。無理を言ったり、迷惑をおかけしたこともありましたが、それでも町の多くのかたがたの協力があったおかげで乗り越えることができました。財産のような経験です。長島町で暮らす皆さんにとって、町の素晴らしさを再認識できる作品になれるようにと想いを込めた結晶が、全国各地から数々の好

評をいただいたこと、ドイツやアイルランドで上映される結果につながったことは言葉で言い表せないほどの気持ちです。この場を借りて、あらためて協力くださったかた、応援してくださったかたがたに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

地域おこし協力隊
長島町・映画プロデューサー
小楠 雄士さん

